

おおむら里山村プレーパーク開設 10 周年記念誌祝辞



NPO 法人 日本冒険遊び場づくり協会

代表 関戸 博樹

おおむら里山村プレーパークの開設 10 周年、誠におめでとうございます。日本の社会は都市化が進み、子どもが遊び育つ機会が少ない状況が広がってしまっており、特に地方都市は自然豊かな環境があっても子どもが遊べないことも増えています。

そんな中、自然豊かな里山の環境で自由にいきいきと遊ぶ子どもや子育てをする大人たち、そして地域の様々な世代が集い、ともにつくる遊び場づくりの営みを広げてきたおおむら里山村プレーパークの 10 年の取り組みはとても素晴らしいものだと感じます。

代表の宮路様には当会の活動にも積極的にご参加いただき感謝です。

特に、2023年の20周年記念事業の際のムービー『「」でつながる』では、みなさんの遊び場の楽しい映像がたくさん流れていたことも記憶に新しいです。

これからの 10 年も更に多くの方が遊び場づくりに関わり、豊かな場が発展していくことを願っています。継続には様々なご苦労もあることと思いますが、遊び場づくりを楽しむみなさんの姿が、確実に次の世代を育てます。

「冒険遊び場づくり」という壮大な冒険、そして挑戦を楽しむみなさんの取り組みが、多くの子どもたちの笑顔を、そして未来をつくっていくでしょう。遊びあふれるまちへ！

おおむら里山村プレーパーク開設 10 周年記念



NPO 法人 日本冒険遊び場づくり協会
地域運営委員 藤原 浩美

おおむら里山村プレーパーク、開設10周年おめでとうございます。本当に嬉しいです。

プレーパークを始めたいと思ったとき、「子どものための居場所は、始めたら大人の勝手にはやめられない、その覚悟はあるんですか？」とプレーパークをやっておられる東京の先輩達からかけられた言葉です。

また、「近隣住民との調整役であり苦情処理係ですよ。」とも教えていただきました。

プレーパークを運営することは、簡単なことではない、腹をくくるしかないという覚悟を決めた瞬間でした。その簡単ではないことを10年も続けてこられました。

暑い日も、寒い日も、雨の日も、コロナ禍も、自分自身の体調が悪い日も、家族の不調の日も、参加者が来ない日も…いろんなことを乗り越えて、仲間と助け合いながら、一日一日を丁寧に紡いで今日の日を迎えることができました。

おおむら里山村プレーパークに関わった仲間の一人として誇らしく思います。

そして、これからも続く一日一日が、楽しみです。

やりたいことを思いっきりやっ払いこう！

好きに生きていこう！

そんな大人モデルとして、子ども達に見せていこう♪

おむら里山村プレーパーク開設 10 周年に際して

遊び場づくりは故郷づくり^{ふるさと}



NPO 法人 日本冒険遊び場づくり協会

評議員 天野 秀昭

月並みではありますが、ここから「開設10周年おめでとうございます」。始まりからいらっしゃる方は皆当時より10歳年を重ね、プレーパークで子どもから元気を吸い取り（？）心はきっと若返ったでしょうが、体は「あれ、10年前にはこのくらいなんともなかったのに…」と思うことも増えたのではないのでしょうか。

でも、当時10歳だった子どもは二十歳となり、中には皆さんの支えになってくれる子もちらほらいたり、種にもなっていなかった子どもが姿を現しすっかりわんぱく、おしゃまになっていた。

親たちにしても、次の親をしっかり支える親が育ってくるのには十分な時間です。世代は着実に動いていることと思います。

ぼくがかかわる世田谷のプレーパークは、その前史から数えると今年50年です。当時そこで遊び、やんちゃしていた子どもが、自分の孫を連れてやってくる例も出始めています。今になって「ここは故郷みたいなもんだから」と、しみじみ感じているようです。

みなさんもぼくも、やっていることはきっとこの「故郷づくり」なのです。遊んだ記憶、それが故郷を生み出す土台です。さらに、そこにともに喜び楽しみ笑いあった仲間がいる、こうなればその故郷はその子の生涯を支える力を持ちます。

10周年、けれどようやく10年です。今後も、一人でも多くの子どもの故郷になってほしい。ぼくも、まだまだ世田谷で現役です。離れてはいるけれど、一緒に遊び続けましょう！

おおむら里山村プレーパーク開設10周年を祝して



大村市長 園田 裕史

おおむら里山村プレーパーク開設10周年、誠におめでとうございます。心からお喜び申し上げます。

おおむら里山村プレーパーク世話人代表 宮路 清正 様、NPO 法人おおむら里山村づくり委員会 理事長 加国 治男 様をはじめ、おおむら里山村プレーパークに関わる皆様におかれましては、子どもたちの「生きる力」を育み、健全な心と体を備えた子どもたちの育成に多大なご尽力を賜り、深く敬意を表します。

近年、少子高齢社会の到来や核家族化の急速な進展、価値観や生活様式の多様化など、私たちを取り巻く社会環境は大きく変化しています。

その中で、子どもたちは直接ものを見る、触れるといった「体験」をすることが少なくなり、これまで家庭や地域で培ってきた教育力が低下し、他者を思いやる心、道徳心や規範意識など、私たちが大事に育んできた人間力が失われつつあるとされています。

このような時代に、「ケガと弁当は自分持ち」の大原則のもと、「子どもが遊びをつくる」「自分の責任で自由に遊ぶ」を掲げ、子どもたちが五感を使ってやりたいと思う「遊び」を実現できる自然環境を整えられている皆様の活動は、とても貴重で大きな役割を担っているものと考えています。

本市といたしましては、皆様の活動が多くの方に認知され、これまで以上に活性化されることを心から願っております。

結びに、おおむら里山村プレーパークの益々のご発展と関係者の皆様のご活躍、そして、この「遊び場」で「自分がやりたいと思う遊び」を思う存分楽しむ子どもたちが増えますことを祈念申し上げ、お祝いのことばといたします。